

# 泰日工業大学



สถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่น  
Thai-Nichi Institute of Technology  
泰日工業大学

สร้างนวัตกรรม ผลิตนักปฏิบัติ สร้างนักประดิษฐ์ ผลิตนักบริหาร

# TNI

## THAI NICH I INSTITUTE OF TECHNOLOGY 2023

In terms of manufacturing education at TNI, it refers to the art and mindset of creating high-quality products using scientific and technological skills that align with the cultural and value systems of Japanese production, while meeting the demands of users (customers). The concept goes beyond manufacturing alone and encompasses a broader scope, including services, which is often referred to as "omotenashi" (hospitality). Recently, the term "Mono" (things) has also been used to capture this concept. TNI's approach to manufacturing education is innovative and groundbreaking, challenging traditional educational methods in Thailand and reflecting a shift in values.



# 学長メッセージ

泰日工業大学 (TNI) は、日本的な教育方法、ものづくり教育をさらに推進し、タイ国内外の機関、特に日本の機関に高く評価される存在になることを目指しています。これには、高専教育システムの導入など、様々な取り組みが含まれています。また、現在提携している80以上の日本の大学や機関との関係や協力を一層強化し、この関係を更に発展させ、双方に利益のあるプロジェクトや研究を推進していきます。

TNIは国際的な視点からも成長し続けており、泰日国際学院 (TNIC) の設立を通じて、学問的知識の他に三か国語 (タイ語、英語、日本語) に堪能な人材を育成しています。また、「Learn at TNI and Go Japan」のコンセプトのもと、日本語学習、インターンシップ、交流、進学、就職などの機会を提供し、学生たちが日本との強い結びつきを持つことを支援します。さらに、グローバル・コミュニケーション学部を新設し、日本語を中心にした学科を開講し、国際的なコミュニケーションスキルを高める場を提供します。

日本との関係において、ジャパンテクノロジー&ナレッジセンターの設立を通じて、日本の技術と知識を集約し、タイにおける唯一の日本関連情報センターとしての役割を果たします。同時に、タイ社会全体における日本の多彩な貢献をPRし、広めていきます。

最後に、TNIの将来に向けて、研究とイノベーションの大学への発展、デジタルユニバーシティ・スマートユニバーシティへの成長、物理面・システム面での日本的イメージの高揚、そして日本の大学との協力によるサテライトキャンパスの建設など、多くの展望があります。

この素晴らしい旅路を学生や支援者の皆様と一緒に進んでいけることを楽しみにしております。今後もTNIの成長と発展を共に築いていきましょう。



## TNI 学長 ランサン・ラートナイサット

- 1980年 京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。同年サハグループICC社に就職。
- 1997年 泰日経済技術振興協会 (TPA) 事務総長に就任し、診断士制度のタイへの普及などに取り組む。
- 2007年 泰日工業大学 経営学部長就任。
- 2020年 副学長 (学生募集・広報・アカデミックサービス担当) に就任。
- 2023年 1月より泰日工業大学 第4代学長に就任。

## 目次

- |                |              |                     |
|----------------|--------------|---------------------|
| 1 TNIの特色       | 5 情報技術学部     | 10 ジョブフェア           |
| 2 学長メッセージ      | 6 経営学部       | 国際交流                |
| 3 直近4年間の学部別学生数 | 7 国際学院(TNIC) | ICBIR TNIAC         |
| 社会人教育課程入学推移    | 8 修士課程       | 日系企業勉強会 (J-seminar) |
| 卒業生就職状況        | 9 社会人教育課程    | 奨学金                 |
| TPA・TNI (設立経緯) |              | 11 年間予定             |
| 4 工学部          |              | 11 地図               |

## 直近4年の学部・学生数推移 (単位：人)

学部/年度	2020年	2021年	2022年	2023年	総数
工学部	126	140	207	271	744
情報工学部	207	242	274	341	1064
経営学部	272	330	394	396	1392
国際学院	33	30	47	47	157
総計	638	742	922	1055	3357

注：1. 学生総数は学部、大学院、社会人教育を含む。  
2. 2020-2022年の実数は総学生数から中退者を差く引く数字。  
2023年は新入生数。

## 社会人教育課程入学数推移 (単位：人)

2020年	2021年	2022年	2023年	総数
36	82	111	175	404

## 卒業生就職状況 (学部別) (E：工学部 I：情報技術学部 B：経営学部)

学部	2018年					2019年					2020年					2021年					合計	%	
	E	I	B	計	%	E	I	B	計	%	E	I	B	計	%	E	I	B	TNIC	計			%
卒業生数	288	182	413	813	100	378	211	453	942	100	245	197	463	905	100	206	198	372	33	809	100	3469	100
就職	193	132	289	664	69.5	207	144	281	632	67.1	169	133	336	618	68.1	157	161	265	25	608	72.5	2522	72.7
進学	44	27	87	158	17.9	43	37	118	198	21.0	39	31	88	158	17.5	25	19	70	--	114	14.9	628	18.1
その他	51	23	27	111	12.5	28	30	54	132	11.9	37	33	39	109	12.0	24	18	37	2	81	10.0	433	12.5

## TPA と TNI (設立の経緯)

主な出来事		備考
1973年1月	TPA設立 穂積五一氏の支援で 元日本人留学生・研修生によって設立	<ul style="list-style-type: none"> <li>●TPA は 2003 年の創立 30 周年を契機に、TPAの専門家ネットワークを活用することで優秀な産業人の育成とタイ産業界への人材供給のために大学設立を目指すに至りました。</li> <li>●2005 年の TPA 総会決議を経て、2006 年9月 29 日 高等教育委員会から学校設立認可が下り、タイ国で、TNI が誕生しました。</li> </ul>
2003年1月	産業人育成・人材供給の為、 大学設立を目指す	
2006年1月	学校設立の認可	<p style="text-align: center;"><b>泰日経済技術振興協会 (TPA)</b></p> <p>【英】Technology Promotion Association 元大蔵大臣ソンマーイ・フントラクーン氏を TPA初代表とした非営利団体。 タイの経済発展のため、日本からタイへの最新技術と知識の移転、普及、人材育成を行うことを目的に設立</p> <p style="text-align: center;"><b>主な業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 附属語学学校</li> <li>・ 書類翻訳・通訳派遣</li> <li>・ 企業診断・コンサルティング</li> <li>・ 工学計測器/実験器具校正・検査</li> </ul>
2007年6月	泰日工業大学 (TNI) 開学	
2022年6月	泰日国際学院 (TNIC) 設立	
現在	工学部・情報工学部・経営学部 国際学院	



# 工学部

- 自動車工学 (AE)
- ロボティクス&  
リーンオートメーション工学 (RE)
- コンピュータ工学&AI (CE)
- 産業工学 (IE)
- 電気工学 (EE)

## 自動車工学 (AE)

自動車の設計、材料技術の開発、生産プロセス、生産管理、自動制御システム、保守システムなどにおいて、自動車の問題解決における分析能力など、新しい技術を仕事に応用できる能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。

## ロボティクス&リーンオートメーション工学 (RE)

在タイ日系製造業から需要が高く、注目をされている分野です。工作機械設計、工場管理、高性能数値制御 (CNC) 設備・機材などを使った実技演習などを含む生産技術システム、生産プロセスにおける問題解決の知識とスキルを学びます。

## コンピュータ工学&AI (CE)

ハードウェアとソフトウェアの設計、組み込みシステムに焦点を当てています。組み込みシステムは、さまざまな産業の自動制御システムの中核です。また、このコースは、日本やアメリカの主要な高等教育機関に相当する水準で運用されています。



## 産業工学 (IE)

産業管理の基準と日本の産業管理を組み合わせ、卒業生は生産計画、生産プロセスの改善、品質管理、物流管理などで、両方の視点からの知識を適用することができます。

## 電気工学 (EE)

電気工学の内容を電力システム、スマートシステム、メカトロニクスの3つの領域で提供します。日本の「ものづくり」の原則に基づいた教育に焦点を当てています。

### Q. 研究テーマとその魅力はなんですか。

A. 炭素繊維強化プラスチック (CFRP) の低コスト製造プロセスの開発」。CFRPは軽量材料であり、金属の3倍から10倍の特異強度を示します。一方で、CFRPの製造プロセスの投資コストが高く、航空宇宙や高級スポーツカーや先進的な電気自動車に限定されています。

### Q. ピムペット先生と日本とのつながりは何ですか

A. 私がTNIの学部生だった頃、日本での学生交流の機会を得ました。その後、文部科学省奨学金を受けて日本で修士号および博士号を取得しました。私は日本とタイの文化と技術の架け橋であると考えています。

### Q. TNIはどんな大学ですか

A. TNIは私にモノづくりの教育スタイルを通じて、日本語とエンジニアリングスキルと一緒に学ぶ機会を与えてくれました。

## 教員紹介

ピムペット・サトンオン先生



### Profile

- 2011年 泰日工業大学工学部自動車工学科卒業
  - 2013年 泰日工業大学Advanced Design And Manufacturing修士課程卒業
  - 2016年 東京工業大学Innovative And Engineered Materials修士課程卒業
  - 2019年 東京工業大学博士課程修了
  - 2020年 泰日工業大学助教授。2021年より現職。
- ※プロフィール・職位は取材当時のものです

# 情報技術学部

情報技術 (IT)

マルチメディア技術 (MT)

ビジネス情報技術学 (BI)

広報デジタル技術学 (DC)

## 情報技術 (IT)

コンピュータ・プログラミング、経営とデータベース設計およびコンピュータ・ネットワーク、マルチメディア、コンピュータ・グラフィック、広報、顧客（関係）管理やウェブサイト上サービスなどの分野に情報技術知識を応用することを含み経営のためのデータ処理などをテーマに学生を訓練し、現代企業に必須な能力を提供します。

## マルチメディアテクノロジー (MT)

国際基準に従った最新のテクノロジーを用いて品質の高い作品を作成するための理論と実践の学習に焦点を当てています。マルチメディアテクノロジーにおける製品デザインと分析スキルの知識を持った卒業生を輩出し、自己学習と開発能力、そして創造性、道徳性、倫理性の感覚を持ち、現在のテクノロジーの変化に追いつくことができる能力を身につけます。学生の作品は、さまざまな外部の人々や組織から高い評価を得ています。

## ビジネス情報技術学 (BI)

情報技術の優れたスキルが身につくと同時に、ビジネスに関する理解を深めることで、さまざまな場面で効率的にITを開発または適用できる能力を養います。また、このプログラムでは、SAP、Oracle、Google Applicationsなど、汎用性の高いソフトウェアの学習も提供しています。産業界からの需要が高く、最も必要とされる分野のひとつです。

## 広報デジタル技術学 (DC)

コミュニケーションとデジタル技術を統合して学習しています。また、ものづくりの原則に従った学術的なアプローチと実践的な経験に重点を置いており、分析、デザイン、作品の評価に取り組む学生のスキル向上を支援します。このプログラムでは創造的産業の推進計画や国家開発戦略計画「Thailand 4.0」に合わせた最新の内容を提供しています。



## 教員紹介

### サラユット・ノンシリ先生



#### Profile

2004年フアチャオチャルームプラキアット大学学士課程修了  
2008年ランシット大学修士課程修了  
2015年アールト大学（フィンランド）工学部博士課程修了

※プロフィール・職位は取材当時のものです

#### Q. 研究テーマとその魅力はなんですか。

A. 私の研究のテーマは、人工知能、機械学習、およびデータ分析を活用して、意思決定の最適化、プロセスの自動化、業務効率の向上を図ることです。コスト削減を促進、生産性の向上を実現しデータに基づいた洞察を可能にします。またイノベーションを促進し企業が競争力を高め、持続的な成長を達成することを目指しています。

#### Q. サラユット先生と日本とのつながりは何ですか。

A. TNIの講師として、日本の大学や研究者との研究協力、学術交流、専門家同士のネットワークを広げています。さらに日系企業との産学連携を行っております。

#### Q. TNIの優れたところはどこですか。

A. TNIの素晴らしい点は国際的な協力にあります。日本の大学や産業とのパートナーシップを通じて、TNIは学生に異文化交流、インターンシップ、そして研究協力の貴重な機会を提供しています。学びの経験を向上させ、グローバルなキャリアの展望に備えています。

# 経営学部

ビジネス&スタートアップ開発 (DB)

日本語・経営学課程 (BJ)

国際経営学 (IB)

会計学 (AC)

日本的人事管理学 (HR)

ロジスティクス・サプライチェーン管理学 (LM)

デジタルマーケティング (CE)

革新的観光・接客管理学 (TH)

## ビジネス&スタートアップ開発 (DB)

多国籍企業のリーダーシップを育成し、自ら海外でビジネスに参入したいと考えている学生を対象としたコースです。授業は英語で行われ、異文化の理解と尊重について国際的な視点を持つことを目指しています。

## 日本語・経営学 (BJ)

さまざまな業種の日本企業やタイ-日合弁企業を対象に会計、財務、人事、マーケティング、物流、国際ビジネス管理など、経営管理の最も共通した側面に焦点を当て、実践的能力を付与します。また日本人教員や専門家による日本語指導が特徴です。

## 国際経営学 (IB)

国際ビジネスのキャリアを追求するすべての学生に不可欠な履修内容です。組織・職業訓練的な内容もあり、学生の就職先を自動車、電機、繊維産業などの国際ビジネス環境の職場、また商業関連分野を視野に入れています。

## 会計学 (AC)

管理会計、財務会計、会計情報と技術の3つの柱を提供し、会計理論と実践において優れた能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。またBOI、日本の会計、所得税、金融、国際会計慣行などの個別分野でタイ語、英語、日本語を駆使できる会計専門家のニーズに応えます。

## 日本的人事管理学 (HR)

人材・ビジネス管理、日本の企業文化に焦点を当てています。特に経営知識と人事管理と開発に関し、労働倫理などの課題に理論面と実践能力、さらにこれらの知識を活用して工業製品を効率的に生産する能力、日本語・英語でのコミュニケーション力を涵養します。

## ロジスティクス・サプライチェーン管理学 (LM)

効率的な生産、マーケティング活動、プロジェクト管理を支援するためのオペレーションにおける技術的アプローチと、顧客満足度の最適化を実現するためのITの選択肢を組み合わせ、物流とサプライチェーン管理の両方を教育することを目指しています。

## デジタルマーケティング (CE)

製品とサービスの開発、価格戦略、マーケティングにおける流通管理、コミュニケーションとプロモーションなどについて創造力が身に着く包括的なプログラムです。また組織経営の理解にも焦点を当て、実際に組織に活用できる内容を学習します。

## 革新的観光・接客管理学 (TH)

成長する観光産業とサービスのニーズに応える、質の高い知識、言語力、IT能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。観光およびホスピタリティ業界のさまざまなポジションで創造的に働くことが可能になります。

## 教員紹介 ブンヤダー・ナソーン先生

### Q. 研究テーマとその魅力はなんですか。

A. 産業関係、知識とイノベーション管理、人材管理、リーダーシップなど複数の学問分野から経営的意義を強調する視点での管理研究です。これらは現行の政策と実践の分析・実施に役立てることができます。

### Q. ブンヤダー先生と日本とのつながりは何ですか。

A. 日系企業に勤務する修士課程の学生を教えています。彼らのキャリアの成長を支援することを目標としています。

### Q. TNIの優れたところはどこですか。

A. TNIは、産業界のニーズを満たす教育基準で質が高く学術的な実践を重視しています。日本とタイの関係構築と協力強化という強みのある大学です。TNIの一員であることは、教育、研究、個人の成長の観点で常に新しい知識を得て自己の成長の機会を持つことができます。



### Profile

1993年サイアム大学学士課程修了 (会計学)  
2004年ブラパー大学学士課程修了 (経営学)  
2014年ブラパー大学博士課程修了 (経営学)

※プロフィール・職位は取材当時のものです

# 国際学院(TNIC)

デジタル工学 (DGE)

データサイエンス・解析学 (DSA)

国際ビジネス&

アントレプレナーシップ (IBN)

日本語・国際ビジネス学 (JIB)

ビジネス工学&イノベーション (BEI)



## デジタル工学 (DGE)

伝統的な電気工学、機械工学、化学工学の要素と組み合わせ、産業インターネット (IIoT)、ビッグデータ分析、クラウドコンピューティング、人工知能 (AI) および機械学習、ブロックチェーン、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)、などのデジタル技術の重要なスキルを取り入れた、エンジニアリング分野のデジタル変革に向けた近代化された学問分野です。

## 国際ビジネス & アントレプレナーシップ (IBN)

グローバル市場で成功するためのリーダーシップスキルと国際ビジネス能力を持つ質の高い卒業生を育成することに特化しています。優れた教授陣や専門家からアドバイスされる戦略やアプローチを提供することで、卒業生の起業家マインドセットを育成します。実践的な学習体験を通じて自信を身につけるよう支援します。

## ビジネス工学&イノベーション (BEI)

エンジニアリングとビジネス管理の両方に熟達したエンジニアを育成することを目指して設計されています。また、データサイエンスとデータ解析に基づいた分析技術を使用する能力も備えています。基本的なエンジニアリングプロセス、産業管理、情報技術スキル、グローバルビジネス管理、財政と経済、さらには言語とコミュニケーションのスキルを磨くことができます。

## データサイエンス・解析学 (DSA)

統計学とコンピュータ科学の知識をビジネスと可視化の技術と組み合わせ、より正確な戦略的意思決定を行うための新しい多様な学問分野です。次世代を育成し、製造業、金融業、サービス業、医療業、さらにはタイランド4.0政策の下で農業など、多くの重要な産業を革新する知識とスキルセットを提供することを目指しています。

## 日本語・国際ビジネス学 (JIB)

基礎から上級まで日本語を集中的に学ぶだけでなく専門的な経営管理に必要な日本語や、実践的なビジネス管理の科目も学習します。また日本での学生交流活動や、インターンシップや共同教育のプログラムに参加し日本での経験を積むこともできます。



## 教員紹介 ピスット・ポンチャイレクス先生



研究テーマについて

- メタヒューリスティクス
- 最適化理論
- スケジューリング技術
- オペレーションズリサーチ

### Q. TNIはどんな大学ですか

A. TNIは、タイの学生と日本の企業との架け橋となっています。日本語教育だけでなく、日本のマネジメントスキルや技術も修得しています。TNIは日系企業への就職や、日本への留学・日本関連の学校に進学する人材を多く輩出する一大拠点となっています。

### Q. ピスット先生と日本とのつながりは何ですか

A. プロダクションエンジニアリング、産業工学、デジタルエンジニアリングのプログラムを含む3つの異なるプログラムにおいて10年間協同教育委員会の委員長を務めてきました。日系企業とは様々な意見交換を行い、彼らがどんな卒業生を求めているかを話し合ってきました。学生の得意分野を伸ばし、知識だけでなく日本企業特有の働き方にも適応できるように学生を教育することで、日系企業の満足度を高めるよう努めてきました。

### Profile

2000年カセサート大学学士課程修了 (工学)  
2002年カセサート大学修士課程修了 (工学)  
2008年アジア工科大学博士課程修了 (工学)

※プロフィール・職位は取材当時のものです





# 修士課程

工学技術学(MET)  
情報技術学(MIT)  
日本語・経営学(MBJ)  
革新的工業経営学(MBI)



## 工学技術 (MET)

研究開発、応用、および工学技術の発展において、知識、スキル、専門知識を持つ卒業生を育成することを目指しています。このプログラムでは、創造的な思考を促進し、問題解決と組織の管理を含む基本的な原則を理解するために、日本的アプローチを取り入れています。また、倫理的な価値観を持ち公共の利益を追求する、誠意ある社会人となるよう教育しています。

## 情報技術学 (MIT)

モノづくりとヒトづくりの原則を基に設計されたこのカリキュラムは、日本スタイルでの創造性と人材育成に焦点を当てています。情報技術に関連する基本的な知識を包括的に組み合わせることで、総合的な教育を提供しています。



## 日本語・経営学 (MBJ)

このプログラムは、日本語の学習と経営管理の学問を組み合わせしており、学生は日本の組織の基本的な管理の考え方や原則に深い理解を持つことができます。経験豊富なビジネスマンからの知識や経験を受け継ぐことで実務に役立つ能力を持った人材となります。

## 革新的工業経営学 (MBI-SPE)

### Strategic Planning and Management for Entrepreneur (MBI-SPE)

米国・西欧と日本の経営知識を融合させ、新しいビジネスの設計と成功したビジネスの管理を目指しています。実践的なトレーニングや成功したビジネスパーソンからの学びを通じて、技能を向上させる学習を提供しています。



## 革新的工業経営学 (MBI-LMS)

### Lean Manufacturing System and Logistics Management (MBI-LMS)

産業部門のビジョンを持つ管理者を育成することを目指しています。産業部門のビジネスを総合的に理解し、コアコンピタンスを開発し、組織の競争力を高める能力を養います。最新の製造技術、リーン生産方式、自動化装置やロボットを駆使し、高度な顧客要件に対応することができます。

# 社会人教育課程

工学部ロボティクス&リーンオートメーション工学(RE)  
工学部 産業工学 (IE)  
情報技術学部 情報技術学 (IT)  
情報技術学部 ビジネス情報技術学 (BI)  
経営学部 技術・生産革新管理学 (MI)  
経営学部 会計学 (AC)  
経営学部 日本的人事管理学 (HR)  
経営学部 ロジスティクス・サプライチェーン管理 (LM)  
経営学部 デジタルマーケティング学 (DM)

社会人教育課程は土日とオンラインを中心にした社会人コースです。現代企業が必要とする産業技術を実践的に学ぶ9つのコース(課程)です。各コースは、基礎科目と必修専門科目から成り、機材・ワークショップ・勤務先の課題解決に取り組む実践的な内容です。

**工学部 ロボティクス&リーンオートメーション工学(RE)**  
従来の生産工学をさらに需要の高い標記テーマに改訂。工作機械設計、工場管理、高性能数値制御(CNC)設備・機材などを使った実技演習などを含む生産技術システム、生産プロセスにおける問題解決の知識とスキルを学びます。

**工学部 産業工学 (IE)**  
生産現場で実際に使用される機器やツールを使い、より深いIEと経営知識とスキルを学びます。生産計画、生産プロセスの改善、物流管理を含む品質管理の理論と応用を学びます。

**情報技術学部 情報技術学 (IT)**  
コンピュータ・プログラミング、マルチメディア、コンピュータ・グラフィック、広報、顧客管理やウェブサイト上のサービスなどの分野で情報技術知識の応用を含む経営のためのデータ処理などをテーマに教えています。

**情報技術学部 ビジネス情報技術学 (BI)**  
国際計算機学会 (ACM) の理論知識を実践的な訓練に統合する標準カリキュラムに基づいて設計、学生に情報技術、特にビジネス情報技術について分析、データ処理、管理に焦点を当てた知識とスキルを付与します。

**経営学部 技術・生産革新管理学 (MI)**  
技術と生産革新を合わせて学び、またビジネス開発で日本の「ものづくりの考え方」を現場に用います。生産管理、品質管理、資本管理、人事管理、物流、サプライチェーン管理、組織析などの経営スキルを学びます。

**経営学部 会計学 (AC)**  
管理会計、財務会計、会計情報という会計技術の3つの柱を提供。またBOI、日本の会計所得税、金融、国際会計慣行などの個別分野でタイ語、英語、日本語を駆使できる会計専門家のニーズに対応しています。

**経営学部 日本的人事管理学 (HR)**  
経営知識と人事管理と開発に関し、労働倫理や道德などの課題に理論面と実践能力、さらにこれらの知識を活用して工業製品を効率生産する能力、英語と日本語のコミュニケーション力を付与します。

**経営学部 ロジスティクス・サプライチェーン管理 (LM)**  
物流サービス開発のシステムやプロセスに焦点を当て、サプライチェーンの包括的サービスでのプロジェクト管理の理論と実践の両方を可能にする人材を育成します。

**経営学部 デジタルマーケティング学 (DM)**  
インターネットやIT技術など「デジタル」を活用したマーケティング手法(ビジネスDM戦略と方法)を学習・実践します。



## ジョブフェア

TNIでは毎年1月に「ジョブフェア」を開催しております。例年100社前後の企業が出展し、700名を超える将来の就職を目指す学生の参加があります。企業・学生双方にとって対面して説明・相談のできる最大の機会であるため、熱気のあるイベントとなります。

また、需要の拡大に伴い、情報技術産業特化型のジョブフェア、在タイ日系銀行と共催のジョブフェアも開催しています。



## 国際交流

2023年9月現在、92の学校・団体と提携をしております。日本とのつながりは80校にのぼり、タイ随一の多さを誇っています。提携校との交換留学も頻繁に行っており、数週間から半期など研究の内容と期間に合わせ日本人の学生を受け入れています。8月開催の「TNIサマープログラム」、3月開催の「クロスカルチャープログラム」には毎年40名前後の日本からの学生が参加し、TNI生との交流やマングローブ植樹体験などを行います。



## ICBIR TNIAC

ICBIRは技術的な国際会議であり、TNIACは技術的な国内会議です。両会議は日程と場所を合わせ同時開催されます。学会誌では、JEDT (Journal of Engineering and Digital Technology) と JBAL (Journal of Business Administration and Languages) から年間6ヶ月ごとに発行され、タイ国文献引用協会 (TCI) の最高レベル評価を得ています。



## 日系企業勉強会 (J-seminar)

在タイ日系企業に勤めるビジネスマンを対象に、2014年より日系企業勉強会 (J-seminar) を開始しました。タイの政治、TNIの学術的な取り組み、TNI卒業生からの日系企業に対する提案などテーマは多岐にわたります。近年はオンラインで開催しており、タイだけでなく、日本、シンガポール、マレーシアなどの国からもご視聴いただいています。



## 奨学金

TNIの奨学金制度では多くの学生に学業・生活資金の支援を行っており、奨学金を受けた卒業生の多くが日系企業や現地企業に就職し、タイの産業発展に寄与しています。新型コロナウイルスの影響で経済的に苦しむ学生が増える一方で、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた人材の育成がタイ産業界の成長に欠かせないと考えています。今後も「創造的思考力、実践力、発明工夫力、経営力を涵養」を大切にし、タイ産業界のために人材育成に努めてまいります。

TNIでは奨学金を随時募集しております。詳細は右のQRコードからご確認ください。



# 年間予定

月	イベント
6月	新学期（第一セメスター）開始 インターンシップ開始（4か月間）
7月	
8月	第一セメスター中間試験 TNIデー
9月	サマープログラム
10月	第一セメスター期末試験
11月	第二セメスター開始 学位授与式・卒業式
12月	
1月	第二セメスター中間試験 ジョブフェア
2月	
3月	第二セメスター期末試験 クロスカルチャープログラム
4月	夏期休暇 短期留学
5月	短期留学



## 地図



## Map of TNI

- A**  
A101 สำนักงานทะเบียนและ  
บริการการศึกษา  
Office of Registration and Education  
Services  
教務課
- A115 สำนักงานพัฒนาวิชาการ  
Office of Academic Development  
學術推進センター
- A117 สำนักงานกิจการนักศึกษา  
Office of Student Affairs  
学生課
- A201 สำนักงานบริหารและการเงิน  
Office of Administration and Finance  
総務課
- A206 ศูนย์ทรัพยากร  
Center of Academic Resources  
學術情報センター
- A301 ศูนย์สารสนเทศและการสื่อสาร  
Information and Communication Center  
情報処理センター

- A401 สำนักวิชาพื้นฐานและภาษา  
College of General Education  
and Languages  
教養学部
- A501 คณะบริหารธุรกิจ  
Faculty of Business  
Administration  
経営学部
- A513 สำนักงานอธิการบดี  
Office of the President  
学長事務局
- A605 คณะเทคโนโลยีสารสนเทศ  
Faculty of Information Technology  
情報技術学部



- B**  
อาคารเรียน B  
Lecture Building B  
講義棟

- D**  
D701 มหะเจตวิทยาธิย  
Graduate School  
大学院事務局

- C**  
C314 คณะวิศวกรรมศาสตร์  
Faculty of Engineering  
工学部

- I**  
I112 ศูนย์รับสมัคร  
Student Admissions Center  
学生募集センター
- E209** ฝ่ายวิเทศสัมพันธ์  
ประชาสัมพันธ์ และศูนย์การศึกษา  
International & Public Relations  
& Scholarship  
国際・広報部・奨学金

- J**  
อาคารปฏิบัติการวิศวกรรมศาสตร์  
Engineering Laboratory Building  
工学実験棟

- E**  
อาคารเรียน E  
Lecture Building E  
講義棟

- F**  
โรงอาหาร  
Canteen  
食堂

- K**  
อาคารปฏิบัติการวิศวกรรมศาสตร์  
Engineering Laboratory Building  
工学実験棟



### 泰日工業大学(TNI)

1771/1,Pattanakarn Rd,Suan Luang,  
Bangkok,10250, THAILAND  
TEL:(+66) 02-763-2600  
E-mail: irs@tni.ac.th

(TNIガイド2023年9月発行)